

HaveFun イベントが開かれました 「水と SDGs——江戸時代は究極の SDGs 持続可能な循環型社会だった」

7月15日(金)、サンロード6階大会議室で文化交流部会のイベント「HaveFun」が開かれました。今回は NIA 会長吉村和就さんが、専門の「水」をテーマに「水と SDGs 江戸時代は究極の SDGs 持続可能な循環型社会だった」という題での講話です。

企画・運営をする文化交流部会長の日向洋美さんはこのイベントに至った経緯を、

「NIA には豊かな人生経験や高い専門知識を持った方々が集まっています。そのままにしておくのはもったいない。ぜひお話をうかがって知識を広げ教養を高めようと部会で声が上がりに、だいたい前から小規模の集まりを続けてきました。今回は会長のお話でもあり、会員に広く呼びかけたのです」と語ります。

吉村さんのお話は、国連の会合や企業での講演、テレビ出演などのエピソードや、時にジョークも交え、「水」に関する古今東西の豊



サンロード6階大会議室で

富な知識が満載で、予定の1時間があっという間に過ぎました。27人の参加者には学び楽しんだひとときとなりました。

〈講話の概要〉

◎国連ミレニアムサミット2000では、「安全な水を飲めない人(14億人)を2015年までに半減させる」が決議。

◎江戸時代は究極のSDGsだった。持続可能な循環型社会。SDGs資源循環の例は、し尿、麦わら、灰、古着、水、そして紙、すべて循環利用だった。

◎紙使用大国だった日本。紙は最高の情報伝達手段。

◎現代の下水道は個人情報情報の宝庫。

◎紙媒体は長期記憶で電子媒体に優る。

◎健康と水～命の水～ 水分が必要な脳。発見と想像が脳細胞を増やす。安全な水なくして未来なし。



講師の吉村 NIA 会長(左)。司会の日向文化交流部会長(右奥)